

おとくにしんぶん ④

2012

http://www.otokuni-jc.org/

発行／公益社団法人乙訓青年会議所 〒617-0826 長岡京市開田3丁目 10-16 長岡京市立産業文化会館2F 編集／総務財政委員会

Contents

3月3LOM 合同例会

乙訓文化少年団育成会

おとくにの輪



ご家族でお越しの方々が多かったです



笑顔で手渡し



子供に大人気のラッキー



非常にたくさんの方々にお越し頂きました

KARAOKE 1 グランプリ

「辛いだけじゃない、旨いだけではないの足りない」のキャッチコピーのもと、激辛のなかでも旨いメニューを決定するKARAOKE 1グランプリが三月十八日、向日町競輪場にて開催されました。

小雨が降り足元が悪い天候にもかかわらず、二万人もの来場客が訪れました。メディア関係者の取材も多く、各地のテレビ局はもちろん、新聞や雑誌など様々な方法で取材されていました。中には有名な芸人なども混ざっており、報道番組だけでなくバラエティー番組での放映も期待されることが伺えました。

そんな高い注目度で開催されたKARAOKE 1グランプリですが、出店されたのは全国選りすぐりの店舗四十店舗。地元向日市の激辛商店街からはもちろん、遠くは岐阜・

東京・栃木・佐賀など参加地域も様々なでの開催となりました。出店されたメニューは、唐揚げ、カレー、カレーうどん、だんご、ラーメン、チヂミ、どーなつ、焼きそば、たこ焼き、チキン、餃子、ハンバーガーなど種類も豊富でどの店舗で食べようか悩んでいる来場者も多く見られ、中には制覇しようとして次々に食べておられる方もいらっしゃいました。そんな中でも行列が出来る店舗もあり、出店されたスタッフも大忙しで作られていました。

多くはご家族で来場されているようで、小学生や中学生などの若い子供たちも沢山見かけました。会場は小雨が続いていましたが、あちこちで、「辛い」「辛くない」などの声があがっており、家族で仲良く過ごされる姿をほほえましく見ることが出来、とても良いイベントになっていることを実感することが出来ました。

(次ページへ)

会員募集

青年会議所（JC）は「明るい豊かな社会の実現」を理想とし、「奉仕・修練・友情」を信条として様々な活動をしている青年経済人の集まりです。会員資格は二十歳から四十歳迄と年齢制限があり、メンバーは限られた時間の中で次代のリーダーとなる責任感を持ち切磋琢磨しています。地域の産業を担う青年経済人の人的ネットワークを広げ、より青年会議所運動を展開する為に、メンバー一同、共に夢を語り合える仲間としてJCの扉を開いて頂ける事をお待ちしています。

乙訓青年会議所では随時メンバーを募集しております。ご興味がある方は（公社）乙訓青年会議所事務局（〇七五―九五七―二三〇）まで



室内でも全力で走ってます

終了しました。

私自身が一年間の文化少年団育成会を終え、まずなによりもお預りしている子どもたちに大きなケガが無かった事にホッとしました。残念ながら十一月のみかん狩りは雨で中止となりましたが、一年間を振り返っておおむね子どもたちにも楽しんで頂けたのではないかと同時に、ほんの三時間の事業でも毎月企画する事の大変さを痛感しました。また一年間を通じて学生ボランティアや他団体の皆様には大変お世話になり、感謝しております。四月からは新たに二〇一二年度の文化少年団育成会がスタートしますが、この一年間で得た経験をしっかりと引き継ぎ、さらに良い企画を考えて頂きたいと思っています。

（記事 川口 順也）

つながる、つながる おとくにの輪

涉がい者雇用セミナー

三月二日（金）長岡京市中央生涯学習センターにて障がい者雇用セミナーが開催されました。まずは株式会社松井商店の松井謙二氏に「我が社における障がい者雇用の取り組み」をご講演頂きました。松井氏はやりがいを持って仕事が出来よう職域を確保される事を心掛けておられ、また社員の方は障がいの有無に関係なくキチンと向き合っており対話する事が大事だとおっしゃっておられました。また松井商店での仕事の様子をビデオで拝見させて頂きましたが、生き生きと集中して作業されている姿は健常者と変わらず、むしろ戦力として期待されている様子がひしひしと伝わってきました。正直なところ、私自身もこれまでに触れ合う機会が少なかったので障がい者に対するイメージだけが独り歩きしていたのですが、今回参加させて頂いてそのイメージが大きく覆されましたし、これからのまちづくりを担う社会の一員として向き合うべきテーマであると感じました。

（記事 川口 順也）



▲講演風景
▶今回主催されたアリス様の機関紙「ACTION」



ケイジャーズカップ

三月十七日（土）

十八日の二日間に渡ってケイジャーズカップの準決勝、決勝が行われました。当日、体育館に近づいて行くと何か懐かしさを感じる音と声援が聞こえ、ドアを開くと中学生や高校生が1つのボール、ゴールのために走り回り、ベンチに居る選手は一人だけが頑張っても上手くない事が多く、チームワークこそが大切であり、周りを見る人がチームを引っ張っていく事が重要だと思えます。昔、自分が中学や高校の部活をただ単純にやりたいから、興味があるからって気持ちでやっていました。ランニングやトレーニングなどの地味な練習の時間が嫌で試合だけやりたいかった。そんな事を思い出しました。このチームワークやトレーニングの重要さを今になって痛感します。これらは全て会社を経営するにあたって同様に大切な事であり、学生の時に既に学ぶ機会があったんだと感じさせられました。



緊張の一瞬！

編集後記 川口順也

当委員会に新たな仲間が加わりました！お神輿好きの松本さんです。

新しい仲間が増えるのは嬉しい事です。

公益財政委員会

編集長 川口順也

副編集長 嶋田年比于

編集委員 足立雅也

市川宣宏

中智哉

松本正義